

# 平成23事業年度 決算概要レポート



公立大学法人 熊本県立大学

～地域に生き、世界に伸びる～



## 【はじめに】

熊本県立大学は、平成18年4月、地方独立行政法人法に基づく公立大学法人となり、平成24年3月末に6回目の事業年度を終了し、平成24年8月20日付けで、平成23事業年度の財務諸表等に関して、設立団体の長である熊本県知事の承認を受けました。

このレポートは、平成23事業年度の財務諸表に基づき、本学の運営状況等についてご理解を深めていただくことを目的として作成しました。本レポートが地域や社会の皆様と本学の相互理解に役立つものとなれば幸いです。

## 目 次

1	貸借対照表の概要	1
2	損益計算書の概要	3
3	利益の処分に関する書類の概要	5
4	キャッシュ・フロー計算書の概要	6
5	行政サービス実施コスト計算書の概要	7
6	決算報告書の概要	8
7	財務諸表の関連図	9

## 1 貸借対照表の概要

貸借対照表は、決算日（3月31日時点）における全ての資産、負債及び純資産を記載した本学の財政状況を表すものです。

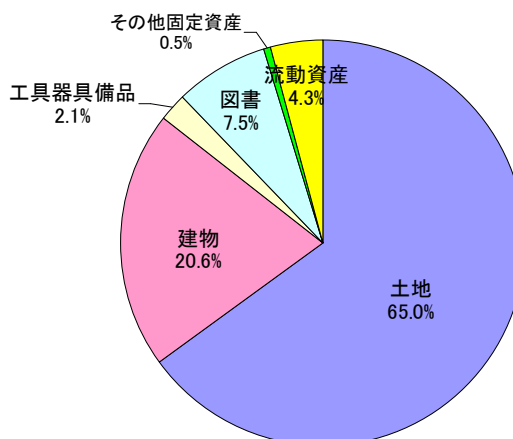
貸借対照表では、右側（貸方）で元手資金をどのような方法で集めているか（資金の調達方法）を示し、左側（借方）でどのような形で運用しているか（資金の運用形態）を示しています。

（単位：千円）

		平成23年度	平成22年度	前年比			平成23年度	平成22年度	前年比	
資産の部	固定資産	土地	9,088,942	9,088,942	0	負債の部	資産見返負債	1,659,682	1,621,483	38,199
		建物	2,886,308	2,897,867	△ 11,559		長期未払金	90,790	149,833	△ 59,043
		構築物	20,868	20,172	696		固定負債合計	1,750,472	1,771,316	△ 20,844
		機械装置	11,449	12,491	△ 1,042		寄附金債務	46,331	47,285	△ 954
		工具器具備品	290,911	345,371	△ 54,460		前受受託研究費等	207	1,602	△ 1,395
		図書	1,049,286	1,023,278	26,008		前受金	0	414	△ 414
		美術品・收藏品	29,200	29,200	0		預り金	24,554	17,434	7,120
		建設仮勘定	987	31,839	△ 30,852		未払金	298,400	414,849	△ 116,449
		有形固定資産合計	13,377,951	13,449,160	△ 71,209		未払費用	632	950	△ 318
		無形固定資産	ソフトウェア	443	926		△ 483	その他	0	461
	電話加入権	64	64	0	流動負債合計	370,124	482,995	△ 112,871		
	無形固定資産合計	507	990	△ 483	負債合計③	2,120,596	2,254,311	△ 133,715		
	投資その他の資産	1,046	761	285	純資産の部	資本金	12,166,185	12,166,185	0	
	固定資産合計①	13,379,504	13,450,911	△ 71,407		資本剰余金	△ 566,260	△ 516,335	△ 49,925	
流動資産	現金及び預金	574,783	734,898	△ 160,115		利益剰余金	256,272	300,650	△ 44,378	
	未収金	20,031	16,612	3,419		うち目的積立金	192,106	189,834	2,272	
	その他	2,475	2,390	85		うち当期総利益	64,166	110,816	△ 46,650	
	流動資産合計②	597,289	753,900	△ 156,611	純資産合計④	11,856,197	11,950,500	△ 94,303		
資産合計(①+②)	13,976,793	14,204,811	△ 228,018	負債純資産合計(③+④)	13,976,793	14,204,811	△ 228,018			

### 資産の状況 (H24. 3. 31 現在)

資産（約 140 億円）は、右図のように、土地が 65.0%と最も多く、以下、建物（20.6%）、図書（7.5%）、流動資産（4.3%）、工具器具備品（2.1%）等となっています。



## 【概要】

### ■資産の部《139億7千7百万円（対前期△2億2千8百万円）》

土地、建物、工具器具備品等の固定資産合計は133億8千万円、現金及び預金や未収金等の流動資産合計は5億9千7百万円となっています。

前期と比較して減少した主な要因は、建物や工具器具備品の減価償却及び未払金の減少（年度内支払いの増）に伴う現金預金の減少などです。

### ■負債の部《21億2千万円（対前期△1億3千4百万円）》

資産見返負債や長期未払金の固定負債合計は17億5千万円、寄附金債務や未払金等の流動負債合計は3億7千万円となっています。

前期と比較して減少した主な要因は、年度内支払いの増に伴う未払金の減少及び資産計上リースに係る長期未払金の減少などです。

### ■純資産の部《118億5千6百万円（対前期△9千4百万円）》

資本金（熊本県からの出資）は121億6千6百万円、資本剰余金は△5億6千6百万円、利益剰余金は2億5千6百万円となっています。

前期と比較して減少した主な要因は、地方独立行政法人会計基準に基づき、熊本県から出資された建物等の減価償却に相当する額（損益外減価償却）を資本剰余金から減額したことによるものです。

## 【参考】

### ※公立大学法人特有の会計処理

#### ・資産見返負債（貸借対照表）と資産見返負債戻入（損益計算書）

運営費交付金や授業料等を財源として償却資産を取得する場合には、取得財源をいったん「資産見返負債」に振り替え、当該償却資産の減価償却処理を行う都度、その同額を負債から取崩しのうへ「資産見返負債戻入」という収益に振り替え、損益を均衡させる会計処理

#### ・損益外減価償却（貸借対照表）

熊本県から出資された建物並びに法人化移行時に資産計上した建物や工具器具備品の一部については、その減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないものとして「特定資産」としての指定を受けており、当該資産に係る減価償却費相当額は損益計算書上の費用には計上せず、損益外減価償却（資本剰余金のマイナス）として処理する

## 2 損益計算書の概要

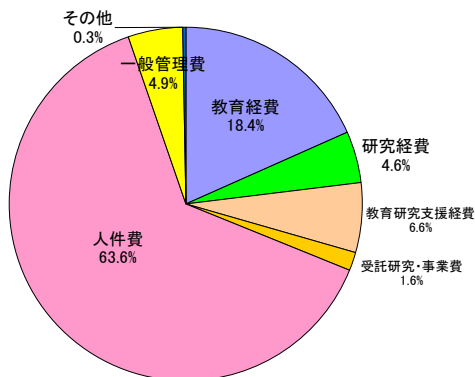
損益計算書は、一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの一年間）に属する全ての費用と収益を記載した本学の運営状況を表すものです。

(単位:千円)

		平成23年度	平成22年度	前年比			平成23年度	平成22年度	前年比
経常費用	業務費				経常収益	運営費交付金収益	886,028	896,145	△ 10,117
	教育経費	421,202	440,356	△ 19,154		授業料収益	1,096,473	1,078,810	17,663
	研究経費	104,165	112,014	△ 7,849		入学金収益	143,657	143,695	△ 38
	教育研究支援経費	150,049	141,424	8,625		検定料収益	38,817	40,149	△ 1,332
	受託研究・事業費	37,583	37,562	21		受託研究・事業等収益	39,385	40,428	△ 1,043
	人件費	1,452,272	1,395,357	56,915		補助金等収益	13,418	24,891	△ 11,473
	業務費計	2,165,271	2,126,713	38,558		寄附金収益	20,869	19,802	1,067
	一般管理費	113,011	112,933	78		資産見返負債戻入	56,148	50,094	6,054
	財務費用等	6,490	5,861	629		雑益等	31,934	32,932	△ 998
	経常費用合計①	2,284,772	2,245,507	39,265		経常収益合計②	2,326,729	2,326,946	△ 217
経常利益③(②-①)	41,957	81,439	△ 39,482	臨時収益⑤	0	4,272	△ 4,272		
臨時損失④	0	3,711	△ 3,711	当期純利益⑥(③+⑤-④)	41,957	82,000	△ 40,043		
当期純利益⑥(③+⑤-④)	41,957	82,000	△ 40,043	目的積立金取崩額⑦	22,209	28,816	△ 6,607		
目的積立金取崩額⑦	22,209	28,816	△ 6,607	当期総利益⑧=⑥+⑦	64,166	110,816	△ 46,650		
当期総利益⑧=⑥+⑦	64,166	110,816	△ 46,650						

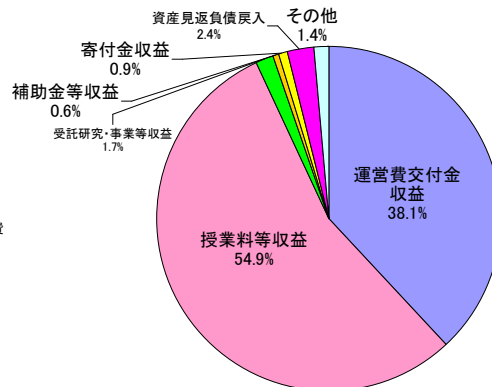
### 経常費用の状況 (H23. 4. 1~H24. 3. 31)

経常費用（約23億円）は、下図のように、人件費が63.6%（除く退職金58.4%）と全体の約6割を占めており、以下、教育経費（18.4%）、教育研究支援経費（6.6%）、一般管理費（4.9%）、研究経費（4.6%）等となっています。



### 経常収益の状況 (H23. 4. 1~H24. 3. 31)

経常収益（約23億円）は、下図のように、授業料等（授業料、入学金、検定料）収益（54.9%）と運営費交付金収益（38.1%）で全体の93%を占めており、この2つを主な収益とする経営体となっています。



## 【概要】

### ■経常費用《22億8千5百万円（対前期+3千9百万円）》

教育、研究、人件費等の業務費計は21億6千5百万円、一般管理費は1億1千3百万円、支払利息等の財務費用等は6百万円となっています。

前期と比較して増加した主な要因は、退職金の増加（3千3百万円増）です。

### ■経常収益《23億2千7百万円（ほぼ前期並み）》

設置団体（熊本県）からの運営費交付金は8億8千6百万円、自己収入（授業料、入学金、検定料）は12億7千9百万円、外部資金（受託研究・事業、補助金、寄附金）は7千4百万円、その他は8千8百万円となっています。

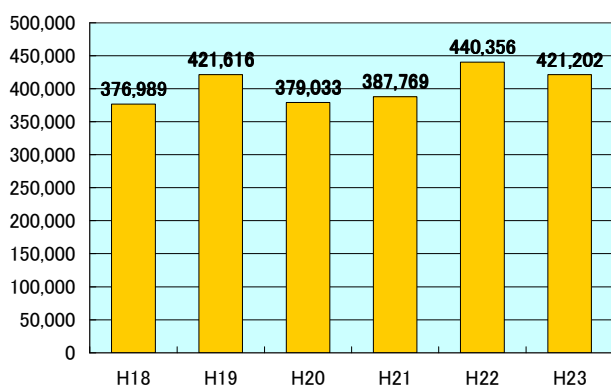
前期と比較すると、県からの運営費交付金及び国等からの補助金は減少したものの、授業料収益の増加等により、前期並みの収益を確保しました。

### ■当期総利益《6千4百万円（対前期△4千7百万円）》

経常収益から経常費用を差し引いた経常利益（当期純利益）が4千2百万円、さらに目的積立金取崩額を加えた当期総利益が6千4百万円となっています。

## 主要経費の年度推移

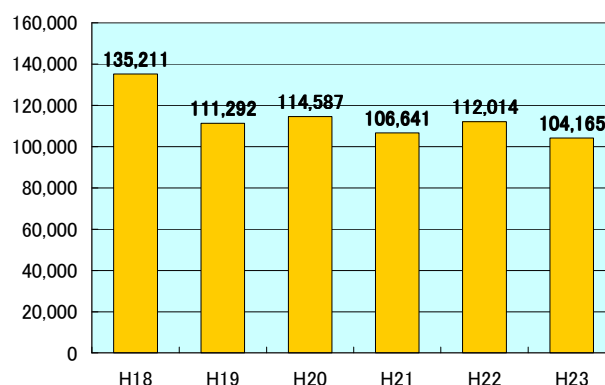
教育経費（千円）



#### 【教育経費】

本法人の業務として学生等に対し行われる教育に要する経費

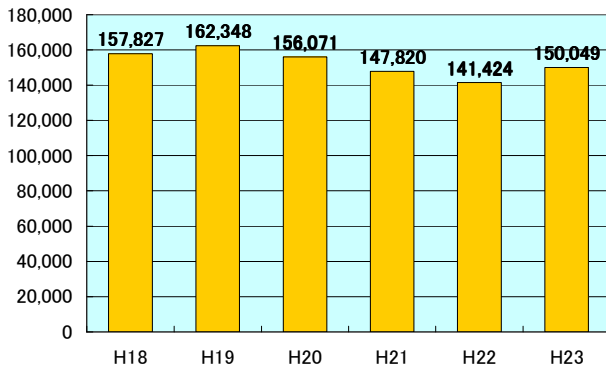
研究経費（千円）



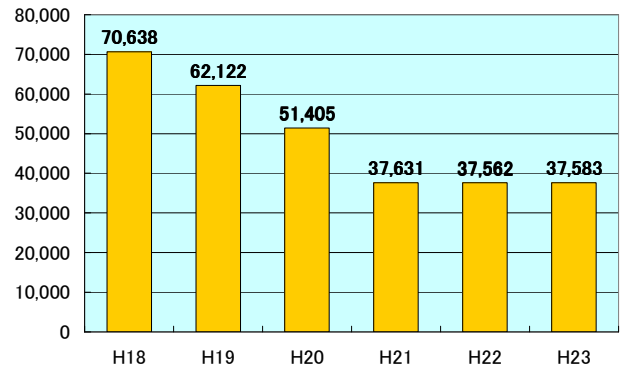
#### 【研究経費】

本法人の業務として行われる研究に要する経費

教育研究支援経費（千円）



受託研究・事業費（千円）



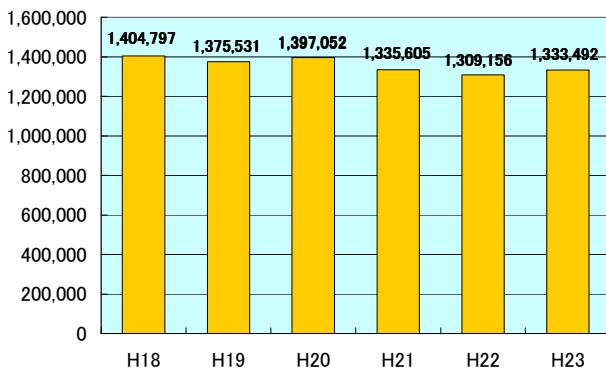
【教育研究支援経費】

学部にも所属せず、法人全体の教育研究の双方を支援するために設置している地域連携センター及び学術情報メディアセンターの運営・活動に要する経費

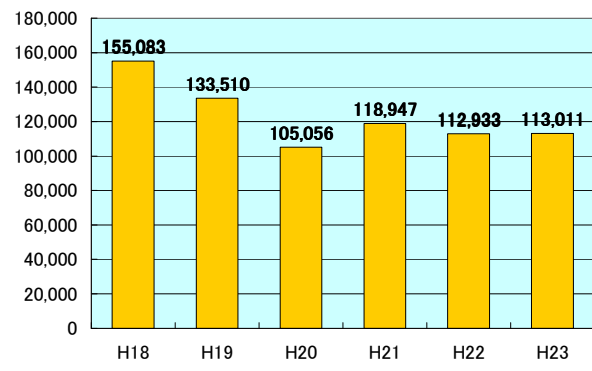
【受託研究・事業費】

受託研究及び共同研究並びに受託事業及び共同事業の実施に要する経費

退職金を除く人件費（千円）



一般管理費（千円）



3 利益の処分にに関する書類の概要

利益の処分にに関する書類

		（単位：円）
I	当期未処分利益	64,166,045
	当期総利益	64,166,045
II	積立金振替額	192,105,901
	教育研究等環境整備目的積立金	192,105,901
III	利益処分類	
	積立金	<u>256,271,946</u>

【本表について】

公立大学法人の本務は教育研究活動であるため、利益の獲得を目的とはしておらず、損益均衡が会計制度の原則となっています。しかし、経費の節減や自己収入の増加等の効率的な業務運営や経営努力を行った場合には利益が生じます。

今期は第1期中期計画期間の最終年度であり、当期総利益と今期末の目的積立金残額を合算した金額（積立金）のうち熊本県知事の承認を受けた額については第2期中期計画への繰越及び使用が可能となります。

第2期中期計画へ繰越した積立金（前中期目標期間繰越積立金）は、第2期中期計画で定めた用途に充てることができ、本法人の第2期中期計画においては「教育研究の質の向上、組織運営及び施設設備の改善に充てる」と定めています。

#### 4 キャッシュ・フロー計算書の概要

キャッシュ・フロー計算書は、一会計期間における業務活動、投資活動及び財務活動の三つの区分に分けて資金収支の状況を表すものです。

(単位:千円)

		平成23年度	平成22年度	前年比	
業務活動によるCF	資金増	運営費交付金収入	886,028	905,688	△ 19,660
		授業料収入	1,175,879	1,176,320	△ 441
		入学金収入	144,320	135,415	8,905
		検定料収入	38,783	40,132	△ 1,349
		受託研究・事業等収入	33,962	47,476	△ 13,514
		補助金等収入	16,931	26,391	△ 9,460
		寄附金収入	18,231	37,632	△ 19,401
		その他	35,169	36,933	△ 1,764
		小計	2,349,303	2,405,987	△ 56,684
	資金減	原材料、商品又はサービスの購入による支出	622,119	533,434	88,685
		人件費支出	1,429,712	1,463,041	△ 33,329
		その他	102,483	121,655	△ 19,172
		小計	2,154,314	2,118,130	36,184
	業務活動によるキャッシュ・フロー ①		194,989	287,857	△ 92,868
投資活動によるCF	資金増	利息の受取額	270	495	△ 225
		固定資産売却による収入	0	43,714	△ 43,714
	資金減	固定資産取得による支出	269,725	293,382	△ 23,657
	投資活動によるキャッシュ・フロー ②		△ 269,455	△ 249,173	△ 20,282
財務活動によるCF	資金減	リース債務償還による支出	81,267	78,465	2,802
		利息の支払額	4,382	5,799	△ 1,417
	財務活動によるキャッシュ・フロー ③		△ 85,649	△ 84,264	△ 1,385
資金増加額 ④(①+②+③)		△ 160,115	△ 45,580	△ 114,535	
資金期首残高 ⑤		734,898	780,478	△ 45,580	
資金期末残高 ⑥(④+⑤)		574,783	734,898	△ 160,115	

#### 【本表について】

- ・業務活動によるCFは、通常の業務活動に伴う資金の動きを表します。
- ・投資活動によるCFは、将来に向けての投資状況を表します。
- ・財務活動によるCFは、資金調達に関する資金の動きを表します。



## 5 行政サービス実施コスト計算書の概要

行政サービス実施コスト計算書は、損益計算書上の費用に加え、法人運営上コストとなっているものを計上することにより、住民等が負担している全コストを明らかにするためのものです。

(単位:千円)

		平成23年度	平成22年度	前年比
業務費用	損益計算書上の費用			
	業務費	2,165,271	2,126,712	38,559
	一般管理費	113,011	112,933	78
	財務費用等	6,490	9,573	△ 3,083
	損益計算書上の費用合計 ①	2,284,772	2,249,218	35,554
	(控除)自己収入等			
	授業料収益	1,093,928	1,076,410	17,518
	公開講座等収益	2,545	2,400	145
	入学金収益	143,657	143,695	△ 38
	検定料収益	38,817	40,149	△ 1,332
	受託研究・事業等収益	39,385	40,428	△ 1,043
	寄附金収益	20,869	19,802	1,067
資産見返運営費交付金等戻入	29,698	22,614	7,084	
資産見返寄附金戻入	1,939	1,701	238	
雑益、財務収益等	22,983	26,248	△ 3,265	
(控除)自己収入等合計 ②	1,393,821	1,373,447	20,374	
業務費用合計 ③(①-②)	890,951	875,771	15,180	
損益外減価償却相当額 ④	136,260	128,644	7,616	
損益外減損損失相当額 ⑤	0	0	0	
引当外賞与増加見積額 ⑥	△ 3,854	784	-	
引当外退職給付増加見積額 ⑦	△ 14,664	28,813	△ 43,477	
機会費用 ⑧(※)	113,456	146,069	△ 32,613	
<b>行政サービス実施コスト(③+④+⑤+⑥+⑦+⑧)</b>	<b>1,122,149</b>	<b>1,180,081</b>	<b>△ 57,932</b>	

※⑧・・・国又は地方公共団体の財産を出資、無償等で使用させているものについて、県民(国民)にとって得られるはずの利益を失っていると考えられるため、コストとして算入

### 【本表について】

公立大学法人の業務運営に関して、県民(納税者)の負担になるコストを表します。損益計算書上の費用①から県民負担とならない授業料等の大学の自己収入②を差し引き、公立大学法人特有の会計処理(④～⑧)により発生したコストを加えます。

その結果、県民の皆様にご負担いただいている本学の業務実施コストは約11億2千万円となっています。

## 6 決算報告書の概要

県における会計認識基準（現金主義）に準じ、公立大学法人年度計画における予算と執行状況を対比して表すことにより、公立大学法人の運営状況を報告するものです。

（単位：千円）

	平成23年度			平成22年度			前年比		
	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	予算額	決算額	
収入	運営費交付金	886,028	886,028	0	905,688	905,688	0	△ 19,660	<b>△ 19,660</b>
	授業料収入	1,173,389	1,173,334	△ 55	1,167,834	1,173,925	6,091	5,555	△ 591
	入学金収入	134,942	140,966	6,024	140,069	135,415	△ 4,654	△ 5,127	5,551
	検定料収入	39,396	38,783	△ 613	36,654	40,132	3,478	2,742	△ 1,349
	受託研究等収入	35,516	39,385	3,869	30,788	40,428	9,640	4,728	△ 1,043
	寄附金収入	33,570	18,231	<b>△ 15,339</b>	33,165	37,632	4,467	405	<b>△ 19,401</b>
	補助金等	16,800	16,931	131	24,950	26,391	1,441	△ 8,150	△ 9,460
	財産処分収入	0	0	0	0	43,714	43,714	0	<b>皆減</b>
	雑収入	31,827	34,377	2,550	28,217	39,634	11,417	3,610	△ 5,257
	目的積立金取崩	115,000	108,544	△ 6,456	90,000	69,865	△ 20,135	25,000	<b>38,679</b>
	収入計	2,466,468	2,456,579	△ 9,889	2,457,365	2,512,824	55,459	9,103	△ 12,531
支出	教育研究経費	1,889,674	1,820,007	<b>△ 69,667</b>	1,869,666	1,776,814	△ 92,852	20,008	<b>43,193</b>
	一般管理費	541,278	531,739	△ 9,539	556,911	522,847	△ 34,064	△ 15,633	8,892
	受託研究費等	35,516	38,554	3,038	30,788	40,428	9,640	4,728	△ 1,874
	支出計	2,466,468	2,390,300	△ 76,168	2,457,365	2,340,089	△ 117,276	9,103	50,211
収入-支出	0	66,279	66,279	0	172,735	172,735	0	△ 62,742	

### 【予算額と決算額の差異について】

#### （収入）

- ・ 寄附金収入（△15,339）については、寄附金取得（収入）を見込んでいた事業の一部について不採択となったことで収入が減少したことにより、予算額に比して決算額が少なくなっています。

#### （支出）

- ・ 教育研究経費（△69,667）については、上記の寄附金不採択に係る事業の経費の減や当初予定していた常勤教員の退職者の補充を延期したこと等により、予算額に比して決算額が少なくなっています。

【決算額に係る前期との増減理由について】

(収入)

- ・ 運営費交付金 (△19,660) については、設立団体である熊本県からの交付額が減少したことにより、前年度に比して少なくなっています。
- ・ 寄附金収入 (△19,401) については、熊本県立大学未来基金や各種研究への寄附金が減少したことにより、前年度に比して少なくなっています。
- ・ 目的積立金取崩 (38,679) については、目的積立金取崩を財源とした教育・研究に係る整備が増加したことにより、前年度に比して多くなっています。

(支出)

- ・ 教育研究経費 (43,193) については、退職者及び常勤教員の増に伴い人件費が増加したこと等により、前年度に比して多くなっています。

7 財務諸表の関連図

